

## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社UEX

コード番号 9888 URL <http://www.uex-ltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 押本 俊明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長

(氏名) 勝賀瀬 崇

TEL 03-5460-6500

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	19,133	14.3	225	—	192	—	227	—
22年3月期第2四半期	16,736	△46.7	△1,706	—	△1,767	—	△1,682	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	18.92	—
22年3月期第2四半期	△140.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	29,285	8,678	29.6	722.51
22年3月期	28,866	8,531	29.5	709.92

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,654百万円 22年3月期 8,503百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	18.5	690	—	560	—	580	—	48.42

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	12,000,000株	22年3月期	12,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	22,360株	22年3月期	22,360株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	11,977,640株	22年3月期2Q	11,977,640株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後発生する状況の変化によっては予想数値と異なる場合があります。

上記業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）におけるわが国経済は、中国を中心としたアジア諸国の経済の拡大に伴う輸出や工業生産の増加などにより景気は緩やかに回復へ向かったものの、期の後半からはデフレや円高基調を背景に不透明感が強まる状況になりました。

このような状況のなか、当社企業集団の連結業績は、中核事業である**ステンレス鋼その他金属材料の販売事業**における業績の回復により、売上高は前年同期に比べ14.3%増加の19,133百万円となりました。利益面につきましては、期初のニッケル価格高騰による先高感が販売価格の上昇をもたらし、売上総利益率が改善したことにより、営業利益は225百万円（前年同期は1,706百万円の損失）、経常利益は192百万円（前年同期は1,767百万円の損失）、四半期純利益は227百万円（前年同期は1,682百万円の損失）となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりです。

**ステンレス鋼その他金属材料の販売事業**

ステンレス鋼の販売において、販売価格が前年同期に比べ約9%上昇し、数量が前年同期に比べ約11%増加したことにより売上高は18,401百万円と前年同期比14.3%増加しました。営業利益は、販売価格の上昇による売上総利益率の回復により、318百万円（前年同期は1,602百万円の損失）となりました。

**ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業**

中国における造管事業の回復により、売上高が399百万円と前年同期比47.7%増加したものの、国内事業において製造拠点の集約による一過性のコスト発生などによる売上原価の増加もあって、営業損益は31百万円の損失（前年同期は33百万円の損失）となりました。

**機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業**

当第2四半期は、前年同期に比べ受注高が約4割増加したものの、下期納期の物件が主体であったことと、上期に計上を予定していた大口受注物件の客先工期遅れによる納期のずれもあり、売上高は334百万円と前年同期比8.7%減少、営業損益は83百万円の損失（前年同期は91百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

## ① 資産

総資産は、前連結会計年度末に比べ1.5%増加し、29,285百万円となりました。これは、現金及び預金が271百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が677百万円増加したことによるものがあります。

## ② 負債

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1.3%増加し、20,607百万円となりました。これは、短期借入金が1,141百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が1,086百万円、賞与引当金が114百

万円、未払金が147百万円増加したことによるものであります。

### ③純資産

純資産合計は、その他有価証券評価差額金が48百万円減少した他、利益剰余金の配当24百万円を実施いたしました。四半期純利益227百万円を計上した結果、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し、8,678百万円となりました。

### (3)連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績につきましては、平成22年10月27日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2.その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてののみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法に関しては、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において想定した将来の業績およびこれに基づくタックス・プランニングにより、回収可能性を判断のうえ繰延税金資産を計上しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

#### ②「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ733千円減少し、

税金等調整前四半期純利益は19,992千円減少しております。

③（四半期連結損益計算書における表示方法の変更）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式および作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第2四半期連結累計期間では「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,746,459	2,017,509
受取手形及び売掛金	10,386,065	9,708,887
有価証券	38,538	38,514
商品及び製品	6,814,873	6,802,233
仕掛品	121,467	37,677
原材料及び貯蔵品	122,613	123,169
繰延税金資産	139,970	79,225
その他	284,888	388,558
貸倒引当金	△5,896	△5,492
流動資産合計	19,648,977	19,190,279
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,575,821	5,575,821
その他（純額）	1,434,763	1,536,546
有形固定資産合計	7,010,584	7,112,366
無形固定資産	409,395	320,806
投資その他の資産		
投資有価証券	1,207,982	1,272,081
長期滞留債権	107,022	108,230
繰延税金資産	607,523	557,015
その他	399,083	414,086
貸倒引当金	△105,557	△108,700
投資その他の資産合計	2,216,053	2,242,713
固定資産合計	9,636,032	9,675,885
資産合計	29,285,009	28,866,165
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,196,893	10,110,843
短期借入金	5,840,640	6,981,247
未払法人税等	29,339	16,147
引当金	208,241	94,444
その他	550,889	403,354
流動負債合計	17,826,002	17,606,035

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
長期借入金	949,962	951,925
再評価に係る繰延税金負債	1,041,984	1,041,984
退職給付引当金	658,937	600,843
その他	129,864	134,140
固定負債合計	2,780,747	2,728,893
負債合計	20,606,749	20,334,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512,150	1,512,150
資本剰余金	1,058,008	1,058,008
利益剰余金	4,594,045	4,391,377
自己株式	△4,486	△4,486
株主資本合計	7,159,717	6,957,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	230,655	278,510
繰延ヘッジ損益	△236	608
土地再評価差額金	1,291,815	1,291,815
為替換算調整勘定	△27,987	△24,829
評価・換算差額等合計	1,494,247	1,546,103
少数株主持分	24,297	28,084
純資産合計	8,678,260	8,531,237
負債純資産合計	29,285,009	28,866,165



(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	16,736,177	19,133,288
売上原価	15,975,766	16,395,649
売上総利益	760,411	2,737,640
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	996,328	962,499
賞与引当金繰入額	125,940	167,322
退職給付費用	134,159	162,139
法定福利費	118,451	113,248
荷造運搬費	346,339	384,880
通信費	39,879	41,769
消耗品費	62,204	75,489
家賃賃借料	146,383	130,586
減価償却費	153,147	134,940
その他	343,498	339,594
販売費及び一般管理費合計	2,466,328	2,512,466
営業利益又は営業損失(△)	△1,705,916	225,174
営業外収益		
受取利息	10,142	418
受取配当金	9,803	9,845
販売手数料収入	10,193	14,963
持分法による投資利益	—	12,048
雇用調整助成金	26,762	18,305
その他	9,852	6,779
営業外収益合計	66,753	62,358
営業外費用		
支払利息	86,486	75,837
手形売却損	24,533	11,564
持分法による投資損失	3,036	—
その他	13,579	8,042
営業外費用合計	127,634	95,443
経常利益又は経常損失(△)	△1,766,797	192,089
特別利益		
投資有価証券売却益	5,097	—
固定資産売却益	799	3,568
賞与引当金戻入額	1,020	—
貸倒引当金戻入額	43,716	1,977
保証債務戻入額	495	177
退職給付引当金戻入額	364	—
特別利益合計	51,491	5,722

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	112	—
固定資産除却損	418	1,935
投資有価証券売却損	—	35
投資有価証券評価損	—	384
特別退職金	—	11,913
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,259
特別損失合計	530	33,525
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,715,837	164,286
法人税、住民税及び事業税	17,069	20,141
法人税等調整額	△43,157	△79,875
法人税等合計	△26,088	△59,734
少数株主損益調整前四半期純利益	—	224,020
少数株主損失(△)	△7,362	△2,603
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,682,386	226,623

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,715,837	164,286
減価償却費	172,858	153,659
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43,716	△2,739
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,522	114,824
退職給付引当金の増減額(△は減少)	44,534	58,094
その他の引当金の増減額(△は減少)	△3,800	△1,000
受取利息及び受取配当金	△19,945	△10,263
支払利息及び手形売却損	111,019	87,401
持分法による投資損益(△は益)	3,036	△12,048
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	19,259
有形固定資産売却損益(△は益)	△686	△3,568
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,097	35
投資有価証券評価損益(△は益)	—	384
固定資産除却損	418	1,935
その他の営業外損益(△は益)	△33,229	△32,005
特別退職金	—	11,913
売上債権の増減額(△は増加)	4,066,920	△635,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,002,478	△97,074
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,601,001	1,088,593
未払消費税等の増減額(△は減少)	△155,938	△17,156
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△7,693
その他の資産・負債の増減額	341,837	129,502
小計	145,329	1,011,313
利息及び配当金の受取額	24,037	14,350
利息の支払額	△101,030	△85,985
手形売却に伴う支払額	△24,533	△11,564
その他	33,229	28,505
特別退職金の支払額	—	△11,913
法人税等の支払額	△24,173	△16,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,858	927,975

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△38,459	△38,533
有価証券の売却による収入	38,318	38,459
有形固定資産の取得による支出	△21,163	△15,783
有形固定資産の売却による収入	1,148	4,714
投資有価証券の取得による支出	△6,454	△6,068
投資有価証券の売却による収入	5,652	1,085
貸付けによる支出	△310	△7,325
貸付金の回収による収入	10,060	660
定期預金の預入による支出	△33,000	—
その他	△17,711	1,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,920	△20,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	460,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△769,940	△890,000
長期借入れによる収入	400,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△2,657	△600,557
配当金の支払額	△24,739	△25,462
少数株主への配当金の支払額	△1,235	—
リース債務の返済による支出	△13,659	△10,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,770	△1,176,713
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,666	△1,508
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	44,373	△271,050
現金及び現金同等物の期首残高	1,912,314	2,017,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,956,688	1,746,459

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	ステンレス鋼 その他金属材料の 販売事業 (千円)	ステンレス 鋼その他金 属加工製品 の製造・販 売事業 (千円)	機械装置の 製造・販売 及びエンジ ニアリング 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	16,100,366	270,067	365,745	16,736,177	—	16,736,177
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	276,518	12,515	146,206	435,239	(435,239)	—
計	16,376,884	282,582	511,951	17,171,417	(435,239)	16,736,177
営業利益又は営業損失 (△)	△1,602,229	△32,777	△90,913	△1,725,919	20,003	△1,705,916

(注)1. 事業区分は、商品及び製品の種類・性質及び販売市場の類似性を考慮し、ステンレス鋼その他金属材料の販売事業、ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業、機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業に区分しております。

## 2. 事業区分及び各区分に属する主要な製品等の名称

事業区分	区分に属する主要な商品等の名称
ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	ステンレス鋼、その他の鉄鋼製品、超合金、チタン
ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	ステンレス鋼製ウェザーカバー、ステンレス鋼管製品
機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	一般産業用機械装置、鋼管製造用機械、エンジニアリングサービス

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方針

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社企業集団の事業区分は、商品及び製品の種類・性質及び販売市場の類似性を考慮し、ステンレス鋼その他金属材料の販売事業、ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業、機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業に区分しております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

報告セグメント	報告セグメントに属する主要な製品・サービス等の名称
ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	ステンレス鋼、その他の鉄鋼製品、超合金、チタン
ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	ステンレス鋼製ウェザーカバー、ステンレス鋼管製品
機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	一般産業用機械装置、鋼管製造用機械、エンジニアリングサービス

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位：千円)

	ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	18,400,559	398,861	333,868	19,133,288
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	275,140	—	1,439	276,580
計	18,675,699	398,861	335,308	19,409,868
セグメント利益又は損失(△)	318,106	△30,724	△83,034	204,348

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	204,348
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	20,827
全社費用	—
その他の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	225,174

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

該当事項はありません。